

- 都はこれまで「2050東京戦略」や「東京グリーンビズ」など、緑に関する取組を着実に進めてきた
- 東京を取り巻く環境が大きく変化する中、インフラ整備などハード面による都市強靱化に合わせ、自然が持つ防災力の活用や生物多様性の確保などを通じて、都市課題の解決に向けて緑の多様な機能の発揮が求められる
- 令和6年の都市緑地法の改正により、都道府県が都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関して、新たに広域計画を定めることができるようになった
- 今般、緑のあるべき姿を示す「緑の広域計画（仮称）」の策定に向け、中間のまとめを取りまとめた

1 東京の緑の現状と動向

社会状況

- 気候変動による自然災害の頻発や生物多様性の損失など課題に直面しており、都市基盤などハード面の整備等に合わせ、自然が持つ力を発揮させることにより都市課題を解決することが期待
- 少子高齢化や多様な人々との共生社会の進展とともに、人々が健康的で豊かな暮らしの実現が必要

東京の緑の状況

- 公園整備による新たな緑の創出に加え、更なる農地や樹林等の保全の取組の推進が必要
- 防災・減災機能の強化や暑さの緩和等都市環境の改善には、水循環や緑の連担性が重要
- 子供の遊び場やくつろぎ・安らぎの場等、身近な緑の多様な利活用ニーズが増大
- 緑の生長や植栽場所等に応じた、樹木の適切な維持管理の徹底が必要
- 世界都市ランキングにおける緑地の充実度は向上しており、今後更に高めていく余地も存在

2 東京が目指す緑

将来に向けてあるべき東京の緑

- 東京の緑の骨格や特徴を明確化し、その魅力を発展
(骨格) 水系や崖線を軸とした多様な自然環境
(特徴) 歴史的景観・風土、民間活力などにより保全・創出された緑 等
- 緑のポテンシャルをまちづくりと調和させながら最大限発揮し、その恵みを楽しむ
・ 都市の魅力、ウェルビーイング、生物多様性、レジリエンス、等のポテンシャルを生かす
・ 良好な都市環境の形成や都市強靱化を図りながら、緑を保全・創出するとともに健全な緑を育成



2 東京が目指す緑

2050年代に目指す東京の緑の全体像

「あらゆる場所で『緑』を感じられ、『緑』の恵みを楽しむ都市」

三つの視点から目指す緑

緑の成り立ち

まちづくり

人の関わり

■多様な緑あふれる都市・東京

▶ 「東京ならではの」多様な個性ある緑を一層際立たせていく

■魅力的な緑に包まれた都市・東京

▶ 持続的なまちづくり等にあわせた多彩な緑を創出していく

■緑を育て、緑によって育まれる都市・東京

▶ 様々な人々と緑とのつながりを増やしていく

3 緑の将来像

地域区分別

自然環境共生域

▶ 魅力と活力のある地域を支える豊かな緑

多摩広域拠点域

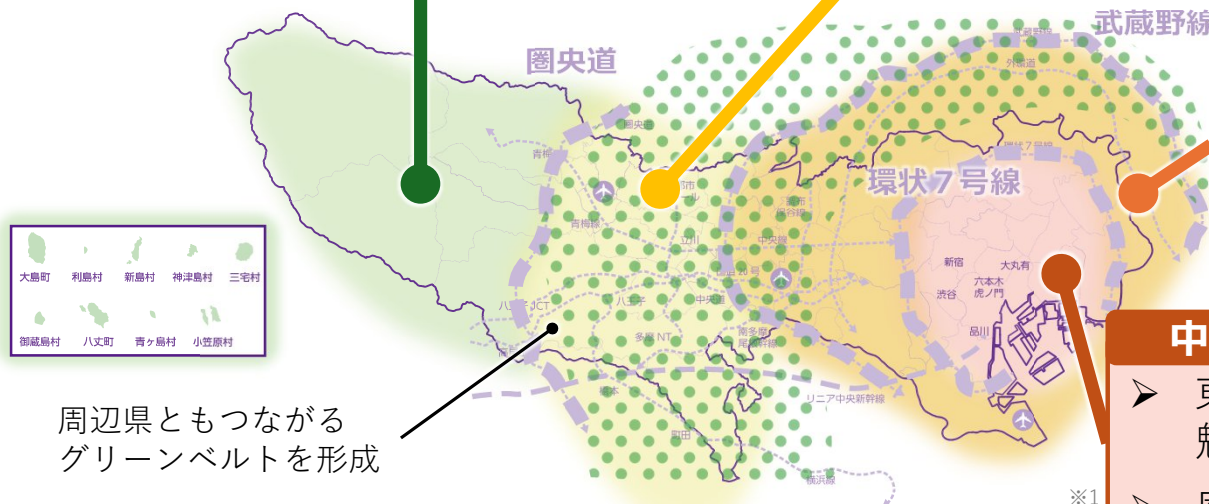
- ▶ 里地里山の景観や地域の歴史とたたずまいを感じさせる緑
- ▶ 市街地の暮らしを支え、交流の拠点となる豊かな緑

新都市生活創造域

- ▶ 武蔵野等の面影を残す農地や大規模公園など厚みとつながりのある身近な緑
- ▶ 人々の活動や交流の核となる緑

中枢広域拠点域

- ▶ 東京を象徴する都市景観を彩り、活力ある魅力的な緑
- ▶ 歴史と文化を継承し、東京の魅力を伝える緑



※1 東京都「『都市づくりのグランドデザイン』改定に向けた中間のまとめ」より引用

3 緑の将来像

種別

公園 : 豊かな緑を有し、緑の多面的機能をくまなく発揮することで**地域の緑・にぎわいや魅力の核**となり、**都民のウェルビーイングに貢献**

街路樹 : 緑の拠点を結ぶ**グリーンロード・ネットワーク**が充実し、**安全で快適な歩行空間と四季を彩る美しい都市景観が調和した緑**が実現

まちなかの緑

公開空地等 : あらゆる開発において、**公開空地**に加え、**建物の低中層部や屋上の緑化**等により**重層的な緑が広がり**、緑豊かで質の高いくつろげる空間を創出

住宅地等 : 地域による緑化活動等を通して、日々の**暮らしの中で触れ合える緑**を創出し、**地域全体で緑に包まれた心地良さ**を実現

公共空間等 : これまで**緑を感じることができなかった空間等への緑化**を推進し、屋内外にわたってつなげる緑が息づく街となり、**緑の恩恵を体感**

歴史的な緑 : 地域ごとの生活や風土を感じさせる**風景・景観**が保全され、「江戸」や「武蔵野」など**東京の歴史・文化を伝える緑**を継承

海辺の緑 : 新たなまちの**にぎわいと豊かな自然が共存**する水辺空間に再生

農地 : **都市と共存する「東京農業」**により、**農のある風景が保全、継承**され、地域の**魅力が向上**し、都民が農に親しむ機会が拡充

里地里山の緑 : 地域らしい**景観や里山文化**が継承され、豊かな**生態系を育む環境**を形成

自然公園・森林・島しょ等 : 多様な地形と生態系を基盤とし、**生き物を育む環境**を保全するとともに、**人と自然が深く関わり、共生する環境**が実現

崖線・河川・上水・用水・水路等 : **連続する緑のネットワークの軸**として、多様性に富んだ**自然環境の形成**や水辺空間の**にぎわい創出**などにより、都市に潤いを付与

緑への満足感の把握

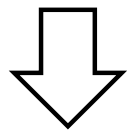
- 2050年代に目指す東京の緑の全体像の実現にあたっては、都民の緑への満足感を捉えていく
- 視界に入る緑の量が多いと**心理的な潤い感**や**安らぎ感**を向上させる効果があるとされており、満足感の向上につながると考えられる
- 「緑の広域計画（仮称）」では、緑への満足感について、「アンケート調査」や「緑の視認性（緑視率等）に関する調査」により把握



今後の進め方

[今回公表]

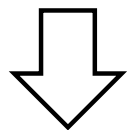
「緑の広域計画（仮称）」 中間のまとめ 公表（令和8年7月）



← 将来、都が目指すべきもの、一緒に取り組んでいきたいことなど

[引き続き検討]

具体的な取組やプロジェクトなど



[令和8年度]

「緑の広域計画（仮称）」 策定

都民の皆様
の御意見